

1年生「算数科」の学習 ————— 1年生では、こんな学習をします。

*学習の目標

- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにします。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにします。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにします。

☆授業の工夫



- 児童が算数の学習は「楽しいもの」、「役に立つもの」という実感をもつことができるような授業を、心がけていきたいと思えます。
- そのために、身近な問題を取り入れるようにするとともに、計算や測定などの作業的な活動や体験的な活動など多様な学習活動を取り入れていきます。
- 1年生の算数は、数の理解と繰り上がり・繰り下がりの計算習得が大きな比重を占めます。このため、繰り返し練習をすることにより確実にできるようにしたいと思えます。

☆年間の学習計画

前 期		時間	後 期		時間
単 元 題 材	☆もりにいこう	2	8	たしざん(2)	12
	1 10までのかず	10	9	ひきざん(2)	12
	2 いくつといくつ	4	10	たすのかな ひくのかな	2
	3 なんばんめ	2		☆おさらい	2
	4 たしざん(1)	10	11	ながさくらべ	5
	5 ひきざん(1)	11	12	おおきなかず	11
	☆おさらい	1	13	1ねんせいのまとめ	5
	6 かたち	4		☆ぴったり10にしよう	2
	7 10より おおきいかず	9		☆ぴったり0にしよう	2
	☆かずをさがそう	2			

4 第1学年の評価の観点の趣旨

算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
数量や図形に親しみを持ち、それらについて様々な経験をもととする。	算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。	整数の計算が確実にでき、それをを用いるとともに、ものの大きさを比較したり、身近な立体を観察したり構成したりする。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量や図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。